

日商産一発 第87号

2012年3月30日

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2012年3月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。（アドレスは http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.htmlです。）

(本件担当) 産業政策第一部 須田・張替
TEL: 03-3283-7839
FAX: 03-3213-8716
E-mail: sangyo1@jcci.or.jp

商工会議所LOBO（早期景気観測）
――2012年3月調査結果――

○調査期間：2012年3月16日～23日
○調査対象：全国の415商工会議所が2820企業にヒアリング
（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

Table with 2 main sections: <産業別回収状況> and <ブロック別回収率>. The first section lists industries like Construction, Manufacturing, Wholesale, Retail, and Services with their respective response counts and recovery rates. The second section lists regions like Hokkaido, Tohoku, Tohoku-Tohoku, Kanto, Kanto-Kanto, Kanto-Kanto, Chubu, Chubu, and Kyushu with their respective response counts and recovery rates.

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）
※ DI値（景況判断指数）について
DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。
DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

――【2012年3月調査結果のポイント】――
業況DIは、足踏み状態が続く

3月の全産業合計の業況DIは、▲23.9と、前月から+9.5ポイントと大幅に改善。僅かではあるが超円高の是正、株高を受け、経済活動に明るい兆しが見えたことに加え、復興需要の波及効果が徐々に及び始めたことが要因。2011年10月から続いていた▲35前後での足踏みから抜け出す結果となった。しかし、比較対象の前年同月（2011年3月）は東日本大震災直後で業況DIが落ち込んだ時期。実態は原油等の原材料価格の上昇・高止まりなどを背景に厳しい状況が続いている。先行きについては、先行き見通しDIが▲26.6（今月比▲2.7ポイント）と、悪化する見込み。第三次補正予算による復興需要の本格化への期待に加え、海外経済の改善や超円高の是正により輸出等に緩やかな回復が見られるものの、取引先企業の海外移転による受注の減少、原油等の原材料価格の上昇・高止まりの長期化が予想されることから、先行きは慎重な判断となっている。

ブロック・産業別業況DI（前年同月比：2012年3月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 23.9	▲ 33.6	▲ 15.3	▲ 27.4	▲ 30.0	▲ 18.1
北 海 道	▲ 14.0	▲ 5.9	▲ 15.4	▲ 12.5	▲ 4.8	▲ 25.9
東 北	4.5	16.7	▲ 3.6	▲ 44.4	13.8	10.7
北陸信越	▲ 22.6	▲ 48.5	▲ 16.7	▲ 35.3	▲ 17.6	▲ 5.1
関 東	▲ 19.7	▲ 30.0	▲ 7.9	▲ 25.9	▲ 23.7	▲ 16.8
東 海	▲ 18.7	▲ 23.1	0.0	▲ 5.3	▲ 53.7	▲ 11.1
近 畿	▲ 39.1	▲ 54.2	▲ 31.9	▲ 22.2	▲ 46.2	▲ 37.2
中 国	▲ 51.5	▲ 35.7	▲ 39.3	▲ 53.8	▲ 75.0	▲ 45.0
四 国	▲ 27.4	▲ 50.0	▲ 16.0	▲ 30.0	▲ 30.8	▲ 18.5
九 州	▲ 31.3	▲ 58.3	▲ 25.8	▲ 33.3	▲ 22.9	▲ 24.1

ブロック・産業別業況DI（先行き見通し：2012年4～6月）

上段：2012年3月時点

下段：2011年3月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 26.6	▲ 37.3	▲ 23.9	▲ 21.3	▲ 29.8	▲ 21.2
北 海 道	▲ 50.7	▲ 60.3	▲ 49.7	▲ 37.4	▲ 49.0	▲ 52.6
東 北	▲ 19.8	▲ 35.3	▲ 7.7	0.0	▲ 28.6	▲ 14.8
北陸信越	▲ 50.5	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 52.2	▲ 53.1
関 東	▲ 0.9	0.0	▲ 7.1	0.0	0.0	3.6
東 海	▲ 68.7	▲ 63.6	▲ 78.9	▲ 66.7	▲ 76.5	▲ 52.9
近 畿	▲ 25.8	▲ 45.5	▲ 22.2	▲ 5.9	▲ 23.5	▲ 23.1
中 国	▲ 51.3	▲ 44.4	▲ 51.4	▲ 36.4	▲ 43.9	▲ 70.6
四 国	▲ 25.8	▲ 35.7	▲ 21.8	▲ 24.1	▲ 28.9	▲ 20.8
九 州	▲ 58.9	▲ 75.6	▲ 64.1	▲ 46.7	▲ 50.8	▲ 54.5
全 国	▲ 31.3	▲ 38.5	▲ 29.4	▲ 10.5	▲ 41.5	▲ 28.9
北 海 道	▲ 45.9	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 41.2	▲ 45.5	▲ 47.4
東 北	▲ 29.3	▲ 25.0	▲ 31.9	▲ 27.8	▲ 32.7	▲ 25.6
北陸信越	▲ 47.0	▲ 52.6	▲ 51.2	▲ 37.5	▲ 43.8	▲ 47.7
関 東	▲ 42.7	▲ 57.1	▲ 32.1	▲ 53.8	▲ 53.6	▲ 25.0
東 海	▲ 48.9	▲ 66.7	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 66.7
近 畿	▲ 34.0	▲ 50.0	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 18.5
中 国	▲ 35.3	▲ 57.1	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 40.7	▲ 30.0
四 国	▲ 27.7	▲ 50.0	▲ 19.4	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 32.1
九 州	▲ 48.5	▲ 63.6	▲ 39.4	0.0	▲ 52.9	▲ 55.9

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI（以下同じ）

産業別にみると、業況DIは、建設業は悪化、卸売業はほぼ横ばい、他の3業種はマイナス幅が大幅に縮小。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「技能工の不足が続いており、人件費が高騰している」（一般工事業）、「住宅産業では大手・中堅メーカーが低価格で受注するため、価格競争が激しい」（一般工事業）、「住宅エコポイント制度の再開に伴いエコリフォームについての相談が増えている」（建築工事業）

【製造業】「円安傾向により取引先の鉄鋼メーカーに輸出増加の動きが見られる。また、エコカー補助金により自動車関連産業向けの取引にも期待」（耐火物製造業）、「タイ洪水からの挽回生産もあり好調」（自動車部品製造業）、「得意先の生産・販売拠点の海外移転が加速している。円高が是正されつつあるが、多少の円安ではこの流れは止まらない」（自動車部品製造業）

【卸売業】「鮮魚（特にマグロ）の仕入値が上昇しているが販売価格に転嫁できない」（水産卸売業）、「原油高騰の影響で仕入価格が毎週上昇している。上昇分を価格転嫁できず採算が悪化」（化学製品卸売業）、「円安になったことで仕入価格が上昇してきている」（自転車卸売業）

【小売業】「前年3月の震災以降、消費が落ち込んでいたが、その反動により最近では売上が伸びている」（百貨店）、「旬の食材の売上が好調で前年比105%と堅調に推移」（スーパー）、「寒さのため、春物衣料の動きが鈍い」（商店街）

【サービス業】「歓送迎会シーズンであり期間限定の学生プランなどが好調」（飲食店）、「エコカー補助金により新車販売が好調なため、車検台数が減少」（自動車整備業）、「3月は軽油価格が1ℓ約10円の値上げ。一カ月で80万円の経費増となっている」（運送業）

【業況についての判断】

○3月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲23.9（前月比+9.5ポイント）と、前月からマイナス幅が大幅に縮小。産業別にみると、エコカー補助金により好調な自動車関連産業を中心に製造業、小売業は、業況が改善。また、サービス業は歓送迎会シーズンの飲食店や旅館等の観光関連産業を中心に業況は上向いている。しかし、比較対象の前年同月は震災直後で部品の調達難等による生産の停止・縮小やイベントの中止、宿泊キャンセルが増加し始めた時期であることに注意が必要。一方、建設業は依然として続く技能者不足による受注機会の喪失や人件費の高騰等により業況の改善が遅れている。

○向こう3カ月（4～6月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲26.6（今月比▲2.7ポイント）と、悪化する見込み。

○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は、技能者不足の長期化が予想されることから悪化。製造業は、取引先企業の海外移転による受注の減少、原油等の原材料価格の高騰によりマイナス幅が拡大する見込み。一方、卸売業はマイナス幅が縮小する見込みであるが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○売上面では、全産業合計の売上DIは▲13.0（前月比+16.0ポイント）と、前月からマイナス幅は大幅に縮小。産業別にみると、建設業は技能者不足による人件費の高騰などマイナス面もあるが、足元では住宅エコポイント制度によりリフォーム工事が増加しており、マイナス幅が縮小。製造業は、エコカー補助金により自動車関連産業を中心に好調なことから改善。その他の3業種についてもマイナス幅は縮小しているが、比較対象の前年同月（2011年3月）は東日本大震災直後で業況DIが落ち込んだ時期であることに注意が必要。

○向こう3カ月（4～6月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲19.8（今月比▲6.8ポイント）と、悪化する見込み。

○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、卸売業はマイナス幅が縮小する見込みであるが、「悪化」から「不変」の変化が主因であることから実態はほぼ横ばい。その他の4業種についてはマイナス幅が拡大する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

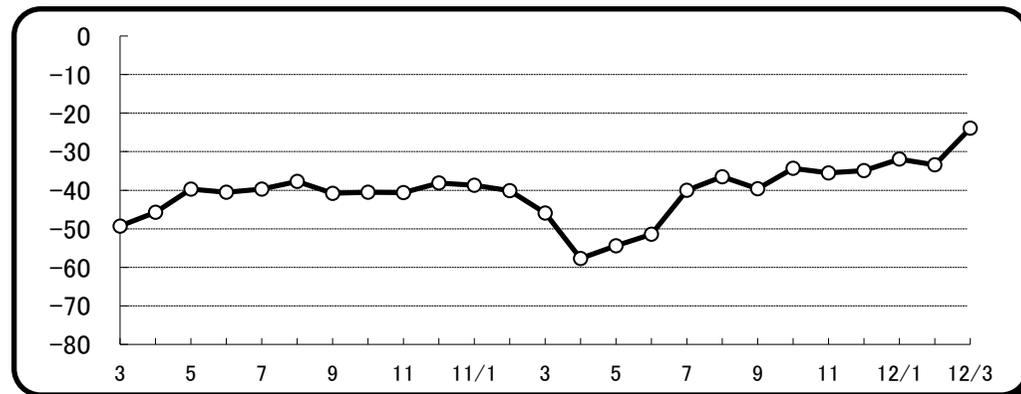
	11年		12年		先行き見通し		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～6月
全産業	▲34.3	▲35.5	▲34.9	▲31.9	▲33.4	▲23.9	▲26.6
建設	▲30.7	▲30.1	▲34.0	▲29.0	▲29.1	▲33.6	▲37.3
製造	▲26.2	▲29.2	▲24.8	▲25.6	▲27.6	▲15.3	▲23.9
卸売	▲38.8	▲32.9	▲35.9	▲22.3	▲27.6	▲27.4	▲21.3
小売	▲37.6	▲44.1	▲42.5	▲40.3	▲42.0	▲30.0	▲29.8
サービス	▲39.4	▲38.0	▲37.7	▲36.2	▲36.2	▲18.1	▲21.2

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

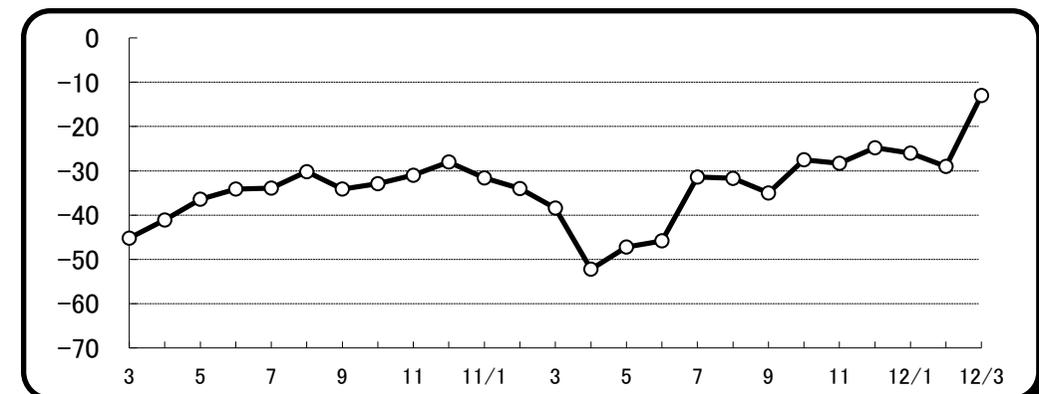
	11年		12年		先行き見通し		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～6月
全産業	▲27.5	▲28.3	▲24.8	▲26.0	▲29.0	▲13.0	▲19.8
建設	▲26.6	▲24.1	▲24.0	▲24.3	▲24.7	▲19.7	▲37.3
製造	▲13.7	▲13.0	▲11.0	▲19.6	▲20.2	▲5.5	▲15.4
卸売	▲29.7	▲22.6	▲23.7	▲22.9	▲28.4	▲11.6	▲3.0
小売	▲32.0	▲41.8	▲32.5	▲31.7	▲36.8	▲18.1	▲21.8
サービス	▲36.3	▲35.7	▲32.2	▲29.2	▲33.5	▲11.4	▲17.8

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



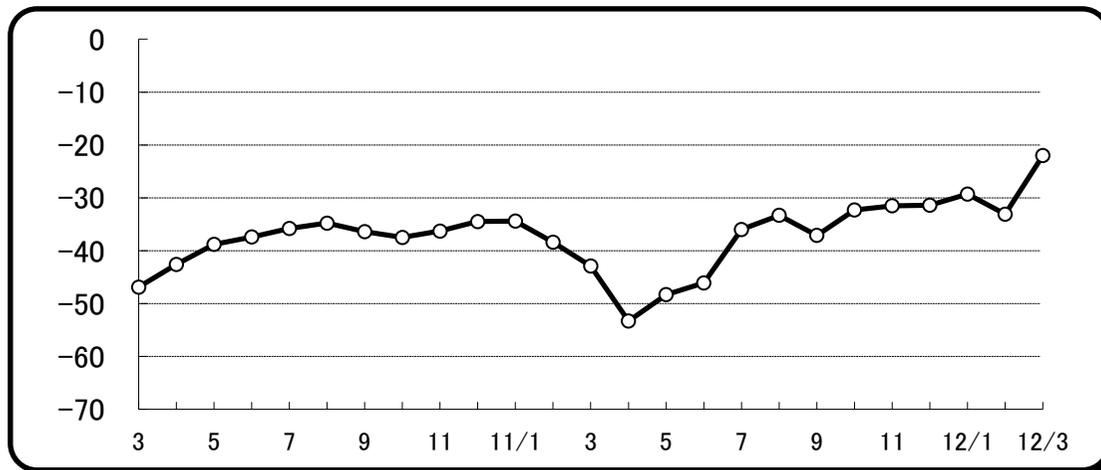
【採算の状況についての判断】

○採算面では、全産業合計の採算DIは▲22.0（前月比+11.1ポイント）と、前月からマイナス幅が大幅に縮小。産業別にみても全業種でマイナス幅が縮小している。但し、比較対象の前年同月（2011年3月）は東日本大震災直後で業況DIが落ち込んだ時期であることに注意が必要。
 ○向こう3カ月（4～6月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算DI（今月比ベース）は▲24.1と、今月から▲2.1ポイントの悪化を見込んでいる。
 ○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、卸売業、小売業でマイナス幅が縮小するが、その他の3業種はマイナス幅が拡大する見込み。

採算DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
全産業	▲32.3	▲31.5	▲31.4	▲29.3	▲33.1	▲22.0	▲24.1
建設	▲38.2	▲35.0	▲36.9	▲31.6	▲35.2	▲34.0	▲42.8
製造	▲24.9	▲24.2	▲22.3	▲24.0	▲26.7	▲15.2	▲23.1
卸売	▲28.4	▲28.3	▲26.3	▲20.5	▲27.6	▲18.9	▲13.4
小売	▲31.8	▲34.2	▲35.2	▲32.6	▲37.2	▲25.7	▲17.3
サービス	▲38.4	▲35.8	▲36.2	▲34.0	▲36.7	▲18.2	▲24.4

《採算DI（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りDI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
全産業	▲22.2	▲21.2	▲21.3	▲20.4	▲19.5	▲16.9	▲17.9
建設	▲29.0	▲23.3	▲29.4	▲24.5	▲21.9	▲23.5	▲23.6
製造	▲17.6	▲15.5	▲11.4	▲16.2	▲15.3	▲10.6	▲13.4
卸売	▲17.7	▲20.4	▲15.5	▲12.1	▲10.3	▲13.0	▲12.3
小売	▲23.2	▲23.0	▲24.8	▲23.0	▲24.0	▲18.3	▲19.0
サービス	▲23.5	▲24.3	▲25.9	▲23.2	▲22.1	▲19.2	▲20.1

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の資金繰りDIは▲16.9と、前月からマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業は技能者不足による工期の遅れ、卸売業は円高是正による輸入などへの影響から資金繰りが悪化。その他の3業種は改善。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、製造業はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種はほぼ横ばいの見込み。

仕入単価DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
全産業	▲27.8	▲25.8	▲23.3	▲25.6	▲21.6	▲29.0	▲28.6
建設	▲34.3	▲31.4	▲30.9	▲31.4	▲30.0	▲35.8	▲41.3
製造	▲35.6	▲33.8	▲32.9	▲30.4	▲26.1	▲35.9	▲31.4
卸売	▲22.3	▲25.2	▲17.9	▲23.6	▲10.3	▲23.8	▲31.7
小売	▲19.8	▲15.2	▲12.9	▲17.3	▲15.1	▲19.7	▲16.7
サービス	▲26.7	▲25.1	▲22.1	▲26.0	▲23.1	▲29.4	▲28.0

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の仕入単価DIは▲29.0と、前月からマイナス幅が拡大。産業別にみても全業種でマイナス幅が拡大。円高メリット以上に原油等の原材料価格の上昇・高止まりが影響。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、今月とほぼ横ばいで推移する見通し。産業別にみると、建設業、卸売業はマイナス幅が拡大、製造業、小売業はマイナス幅が縮小、サービス業は若干の改善の見込み。

従業員DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
全産業	▲4.3	▲3.4	▲3.8	▲2.2	▲2.8	▲3.3	▲5.3
建設	▲4.8	▲2.2	▲8.8	▲4.3	▲5.7	▲6.3	▲11.6
製造	▲3.7	▲6.8	▲6.7	▲5.5	▲4.8	▲4.7	▲7.5
卸売	▲8.8	▲5.7	▲9.6	▲6.0	▲5.1	▲5.5	▲4.9
小売	▲3.5	▲1.9	2.0	0.8	0.3	▲3.3	▲3.3
サービス	▲3.4	▲1.2	▲1.2	1.1	▲0.9	1.1	▲0.8

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の従業員DIは▲3.3と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、小売業はマイナス幅が拡大、サービス業は縮小したが、他の3業種はほぼ横ばい。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ悪化する見通し。産業別にみると、卸売業、小売業は、ほぼ横ばい、建設業、製造業は、人手過剰感が強まる見込み。サービス業は、若干の人手過剰となるが、マイナス一桁台の低水準での推移。

2012年3月

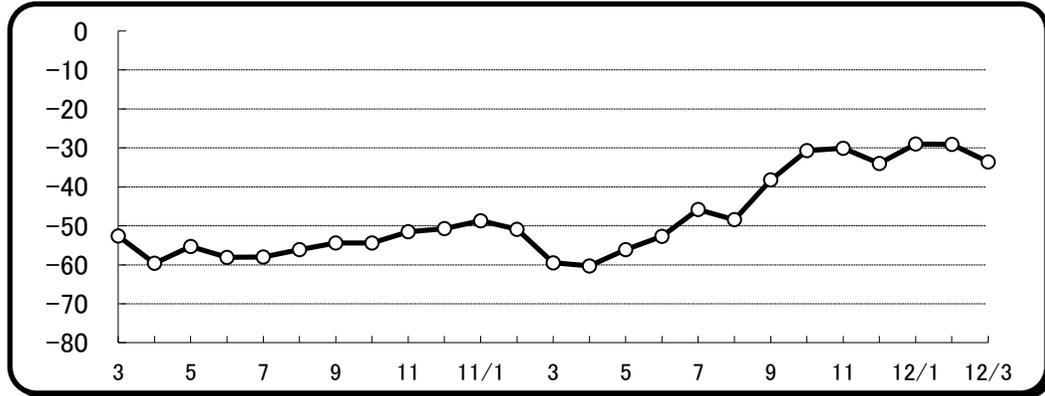
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-13.0	-19.8	-22.0	-24.1	-16.9	-17.9	-29.0	-28.6	-3.3	-5.3	-23.9	-26.6
北海道	-5.7	-13.8	-15.1	-11.6	-4.7	-9.3	-22.1	-26.7	-5.8	-4.7	-14.0	-19.8
東北	3.6	-4.5	-9.8	-9.8	-13.5	-15.3	-34.8	-37.5	1.8	-0.9	4.5	-0.9
北陸信越	-10.1	-17.1	-18.2	-24.7	-15.1	-20.8	-31.2	-26.8	0.6	-1.9	-22.6	-25.8
関東	-5.4	-13.3	-17.2	-24.6	-13.9	-18.8	-30.9	-33.0	1.2	-2.4	-19.7	-25.8
東海	-14.8	-29.7	-22.1	-30.0	-11.9	-17.5	-26.3	-21.8	-5.0	-7.7	-18.7	-31.3
近畿	-29.2	-23.4	-39.9	-28.0	-23.7	-14.8	-30.8	-31.3	-8.6	-8.7	-39.1	-29.3
中国	-39.8	-31.1	-34.0	-24.3	-34.7	-30.3	-18.6	-15.7	-15.5	-13.6	-51.5	-42.7
四国	-10.4	-29.2	-23.6	-28.3	-14.3	-14.3	-22.6	-23.6	-3.8	-1.9	-27.4	-34.0
九州	-16.0	-25.8	-20.8	-25.6	-26.0	-17.7	-34.6	-30.2	-5.4	-10.8	-31.3	-27.7
建設												
全国	-19.7	-37.3	-34.0	-42.8	-23.5	-23.6	-35.8	-41.3	-6.3	-11.6	-33.6	-37.3
北海道	5.6	-27.8	-5.9	-35.3	-5.9	-23.5	-17.6	-35.3	-11.8	-17.6	-5.9	-35.3
東北	-5.6	-11.1	-22.2	-22.2	-22.2	-22.2	-44.4	-61.1	5.6	0.0	16.7	0.0
北陸信越	-21.9	-50.0	-39.4	-59.4	-24.2	-30.3	-34.4	-37.5	0.0	-15.2	-48.5	-45.5
関東	-17.1	-30.0	-18.6	-35.7	-15.9	-14.5	-41.8	-43.3	-4.4	0.0	-30.0	-35.7
東海	-15.4	-34.6	-42.3	-34.6	-7.7	-16.0	-30.8	-30.8	-4.0	-16.0	-23.1	-38.5
近畿	-45.8	-37.5	-41.7	-33.3	-25.0	-16.7	-25.0	-41.7	-12.5	-25.0	-54.2	-25.0
中国	-35.7	-35.7	-50.0	-57.1	-35.7	-35.7	-28.6	-21.4	-7.1	-28.6	-35.7	-57.1
四国	-16.7	-61.1	-50.0	-55.6	-38.9	-38.9	-33.3	-33.3	-5.6	0.0	-50.0	-50.0
九州	-25.0	-54.2	-62.5	-62.5	-54.2	-37.5	-50.0	-58.3	-21.7	-25.0	-58.3	-50.0
製造												
全国	-5.5	-15.4	-15.2	-23.1	-10.6	-13.4	-35.9	-31.4	-4.7	-7.5	-15.3	-23.9
北海道	-23.1	-15.4	-30.8	0.0	-7.7	23.1	-46.2	-38.5	-7.7	-7.7	-15.4	-7.7
東北	-3.6	-3.7	-10.7	-25.0	-14.3	-21.4	-42.9	-46.4	-3.6	0.0	-3.6	-7.1
北陸信越	5.6	-5.6	-5.6	-13.9	-11.1	-16.7	-30.6	-33.3	-5.6	0.0	-16.7	-22.2
関東	2.0	-9.9	-11.9	-25.7	-6.9	-17.8	-38.4	-37.0	1.0	-7.0	-7.9	-21.8
東海	2.0	-35.3	-3.9	-25.5	-4.0	-10.0	-35.3	-15.7	-5.9	-5.9	0.0	-29.4
近畿	-8.3	-14.9	-31.3	-31.9	-17.4	-13.0	-47.9	-43.8	-14.6	-14.9	-31.9	-31.9
中国	-35.7	-25.0	-21.4	-21.4	-7.1	-14.3	-7.1	-10.7	0.0	-3.6	-39.3	-32.1
四国	-16.0	-16.0	-24.0	-24.0	-16.0	-12.0	-32.0	-28.0	-8.0	-4.0	-16.0	-32.0
九州	-9.7	-13.3	-16.1	-16.1	-19.4	-9.7	-35.5	-22.6	-6.5	-22.6	-25.8	-19.4

2012年3月

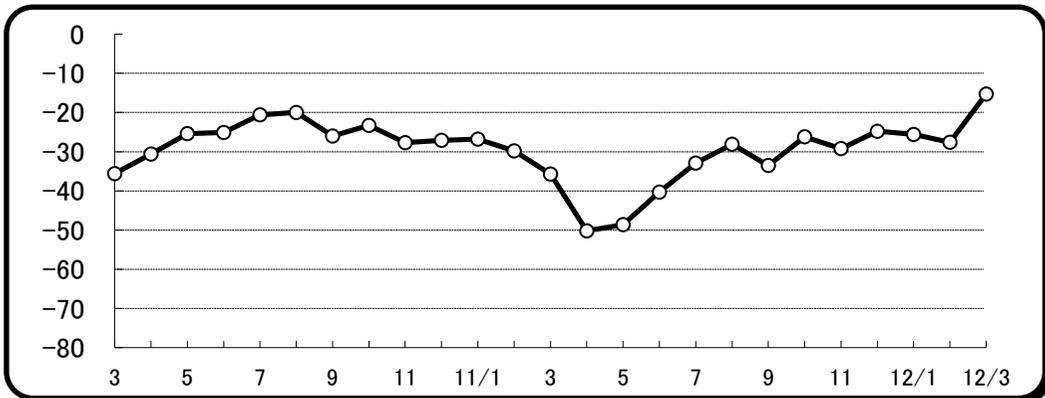
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-11.6	-3.0	-18.9	-13.4	-13.0	-12.3	-23.8	-31.7	-5.5	-4.9	-27.4	-21.3
北海道	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	-25.0	-37.5	0.0	0.0	-12.5	0.0
東北	-33.3	0.0	-44.4	0.0	-33.3	-11.1	-22.2	-44.4	11.1	11.1	-44.4	0.0
北陸信越	-29.4	23.5	-17.6	5.9	-5.9	5.9	-35.3	-17.6	0.0	5.9	-35.3	-5.9
関東	-1.7	-8.6	-24.1	-29.3	-12.1	-20.7	-27.6	-44.8	-1.7	-5.2	-25.9	-24.1
東海	0.0	5.3	-15.8	-5.3	-11.8	0.0	-26.3	-42.1	-15.8	-21.1	-5.3	-10.5
近畿	-27.8	-16.7	-11.1	-11.1	-5.6	-5.6	-11.1	-22.2	-11.1	-5.6	-22.2	-27.8
中国	-23.1	-15.4	-23.1	-23.1	-53.8	-46.2	0.0	-7.7	-15.4	-15.4	-53.8	-53.8
四国	-10.0	-10.0	-10.0	0.0	0.0	0.0	-20.0	-10.0	0.0	0.0	-30.0	-20.0
九州	-8.3	0.0	-16.7	-16.7	-8.3	-8.3	-33.3	-16.7	-16.7	0.0	-33.3	-33.3
小売												
全国	-18.1	-21.8	-25.7	-17.3	-18.3	-19.0	-19.7	-16.7	-3.3	-3.3	-30.0	-29.8
北海道	9.5	-9.5	-9.5	4.8	14.3	-9.5	-14.3	4.8	-4.8	-4.8	-4.8	-28.6
東北	17.2	-3.4	6.9	6.9	-7.1	-7.1	-27.6	-20.7	3.4	0.0	13.8	0.0
北陸信越	-8.8	-5.9	-20.6	-11.8	-14.7	-17.6	-17.6	-14.7	5.9	2.9	-17.6	-23.5
関東	-4.1	-11.3	-21.4	-15.6	-18.8	-19.6	-15.3	-16.5	5.2	2.1	-23.7	-28.9
東海	-43.9	-43.9	-39.0	-36.6	-17.5	-25.0	-19.5	-9.8	-2.4	-2.4	-53.7	-41.5
近畿	-44.2	-26.9	-56.0	-30.0	-33.3	-20.8	-22.0	-20.0	-17.3	-11.5	-46.2	-32.7
中国	-53.6	-42.9	-42.9	-14.3	-43.5	-37.5	-25.9	-18.5	-39.3	-21.4	-75.0	-53.6
四国	-11.5	-53.8	-19.2	-38.5	-8.0	-20.0	-19.2	-30.8	0.0	-7.7	-30.8	-46.2
九州	-20.0	-14.7	-11.4	-5.9	-20.0	-11.4	-22.9	-20.0	5.7	2.9	-22.9	-14.3
サービス												
全国	-11.4	-17.8	-18.2	-24.4	-19.2	-20.1	-29.4	-28.0	1.1	-0.8	-18.1	-21.2
北海道	-18.5	-14.8	-25.9	-25.9	-22.2	-18.5	-18.5	-37.0	-3.7	3.7	-25.9	-14.8
東北	14.3	-3.6	-7.1	-7.1	-7.1	-14.3	-32.1	-28.6	0.0	-7.1	10.7	3.6
北陸信越	-7.7	-28.2	-10.3	-30.8	-15.4	-30.8	-39.5	-26.3	2.6	0.0	-5.1	-23.1
関東	-7.8	-9.8	-13.7	-21.6	-16.0	-21.0	-33.3	-31.4	3.0	-2.0	-16.8	-20.8
東海	-13.3	-22.2	-18.2	-37.2	-18.2	-27.3	-19.0	-26.2	-2.2	-4.4	-11.1	-28.9
近畿	-25.6	-23.3	-41.9	-25.6	-26.8	-12.5	-33.3	-28.6	11.6	9.3	-37.2	-25.6
中国	-40.0	-30.0	-35.0	-20.0	-50.0	-30.0	-30.0	-20.0	-10.0	-5.0	-45.0	-25.0
四国	0.0	-3.7	-14.8	-14.8	-7.4	0.0	-11.1	-11.1	-3.7	3.7	-18.5	-18.5
九州	-13.8	-39.3	-3.6	-32.1	-24.1	-21.4	-35.7	-33.3	0.0	-7.1	-24.1	-32.1

業況DI（前年同月比）の推移（全国）

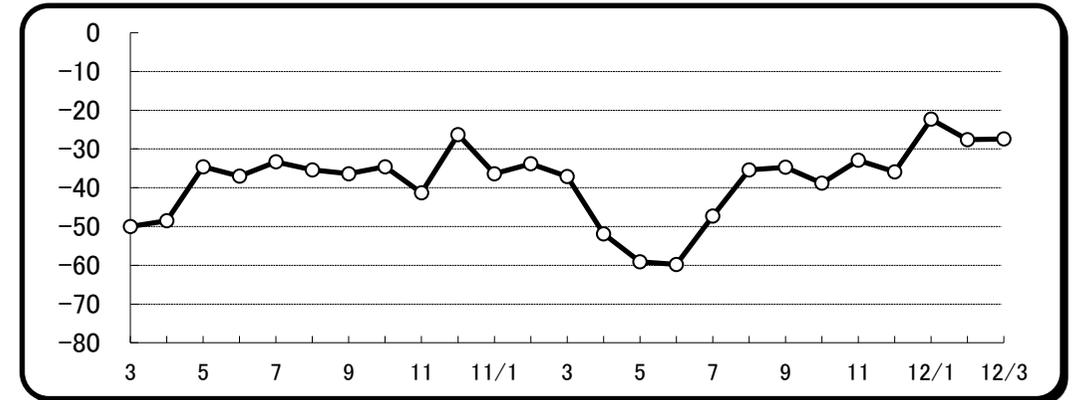
建設業



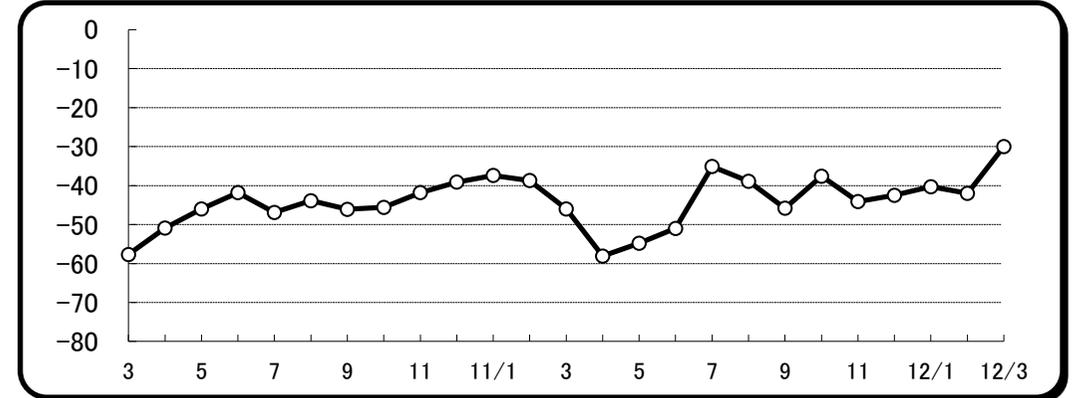
製造業



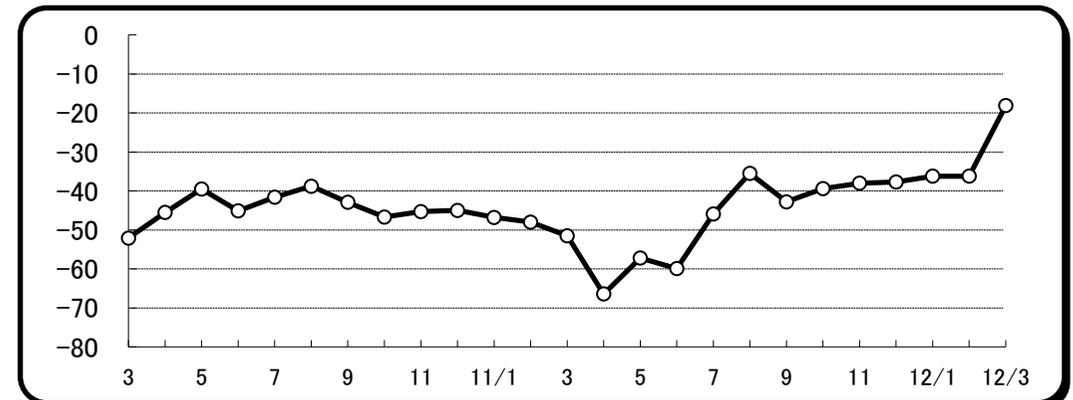
卸売業



小売業



サービス業



【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、前月と比べ大幅に改善。産業別では、建設業はほぼ横ばい、その他の4業種は改善。
 ○建築工事業からは、「公共工事が減少している上に、落札しても採算がとれない。また、原油の高騰により利益率がさらに悪化している」とのコメント。水産品加工業からは、「3月に入り円安傾向が強まっているが、原油、加工原材料の高騰により採算悪化」とのコメント。商店街からは、「寒さの影響で、例年と比べ暖房器具の点検・修理の依頼が遅れている」との声、旅行業からは、「ロンドンオリンピックの観戦ツアー等の動きが出始めた」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月から悪化する見込み。産業別にみると、建設業、小売業は、マイナス幅が拡大するものの、その他の3業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 31.1	▲ 38.7	▲ 39.2	▲ 29.5	▲ 28.6	▲ 14.0	▲ 19.8
売上	▲ 29.3	▲ 42.1	▲ 24.0	▲ 24.5	▲ 30.4	▲ 5.7	▲ 13.8
採算	▲ 28.4	▲ 29.3	▲ 32.4	▲ 22.9	▲ 26.4	▲ 15.1	▲ 11.6
資金繰り	▲ 23.6	▲ 23.0	▲ 21.9	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 4.7	▲ 9.3
仕入単価	▲ 17.6	▲ 20.3	▲ 18.9	▲ 27.2	▲ 23.3	▲ 22.1	▲ 26.7
従業員	▲ 5.4	▲ 6.7	▲ 9.5	▲ 8.6	▲ 5.5	▲ 5.8	▲ 4.7

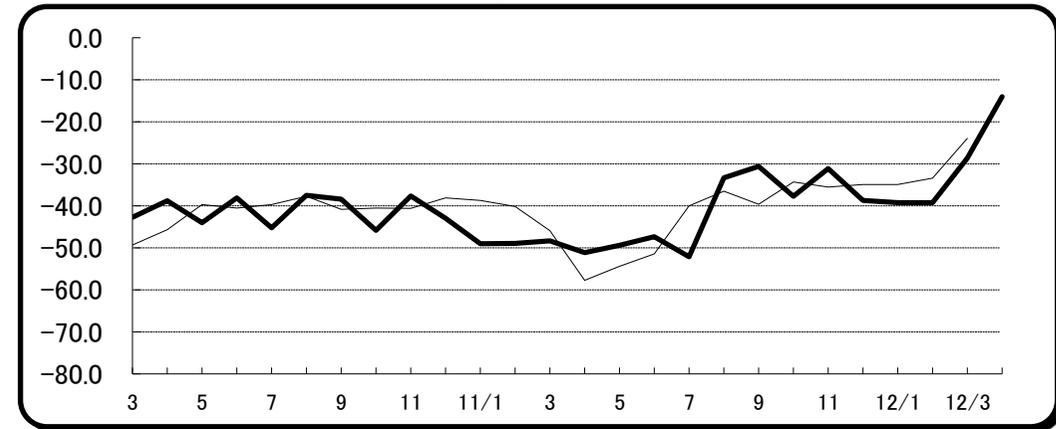
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 5.6	▲ 5.9	▲ 35.3
製造	▲ 53.8	▲ 58.3	▲ 33.3	▲ 31.6	▲ 35.7	▲ 15.4	▲ 7.7
卸売	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 12.5	0.0
小売	▲ 23.8	▲ 45.0	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 34.8	▲ 4.8	▲ 28.6
サービス	▲ 20.0	▲ 23.8	▲ 55.0	▲ 27.6	▲ 32.1	▲ 25.9	▲ 14.8

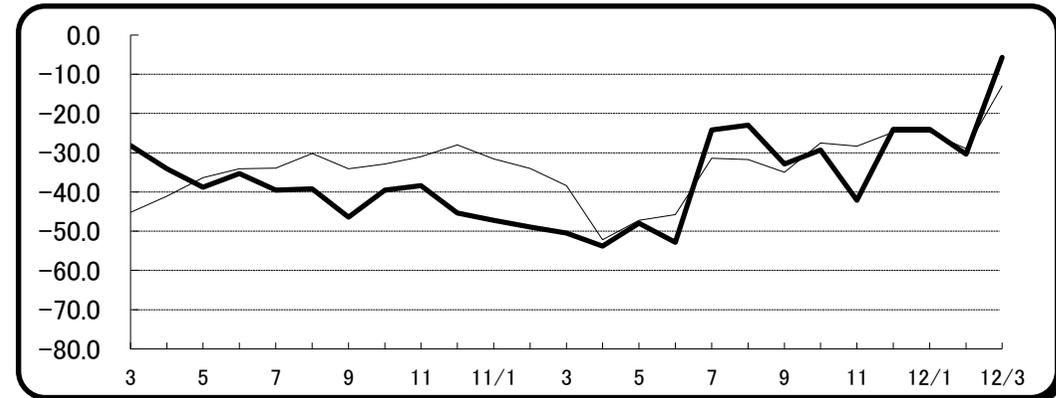
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道 —— 全国

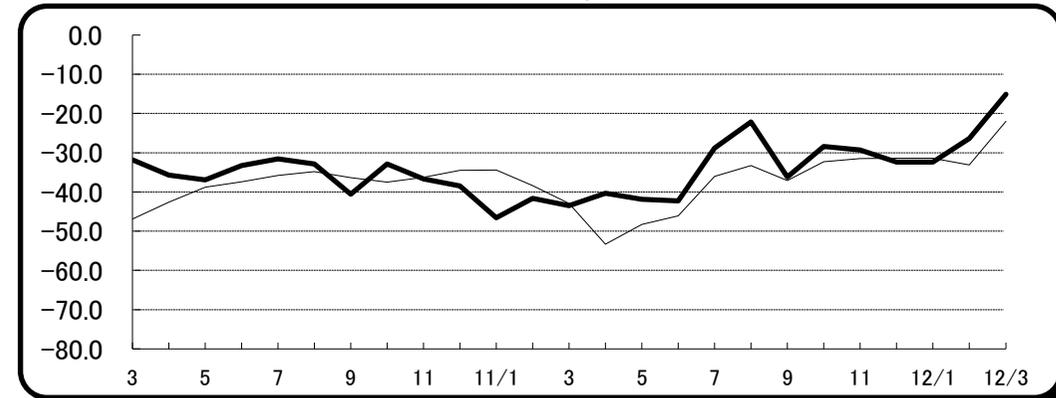
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみても、卸売業はマイナス幅が拡大したものの、その他の4業種で改善した。
 ○印刷業からは、「原材料価格が高騰。価格転嫁できず粗利が減少している」とのコメント。農業用薬品卸売業からは、「震災関連で新たな需要が期待されているが、瓦礫撤去の遅れで足踏みが続いている」とのコメント。燃料小売業からは、「原油価格が高騰している中、円安に転じ始めたことで仕入価格はさらに上昇している。価格転嫁できず厳しい状況」との声、旅館業からは、「価格競争が激しさを増しており、安定した売上を確保することが困難」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月から悪化する見込み。産業別にみると、卸売業はマイナス幅が縮小するものの、その他の4業種は悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 18.5	▲ 13.0	▲ 18.9	▲ 10.9	▲ 25.6	4.5	▲ 0.9
売上	▲ 5.6	▲ 1.7	▲ 18.0	▲ 10.9	▲ 23.1	3.6	▲ 4.5
採算	▲ 18.5	▲ 19.1	▲ 25.2	▲ 15.0	▲ 29.1	▲ 9.8	▲ 9.8
資金繰り	▲ 20.6	▲ 14.0	▲ 23.6	▲ 15.0	▲ 18.1	▲ 13.5	▲ 15.3
仕入単価	▲ 32.4	▲ 29.6	▲ 28.8	▲ 36.6	▲ 29.1	▲ 34.8	▲ 37.5
従業員	▲ 0.9	8.7	3.6	7.9	0.0	1.8	▲ 0.9

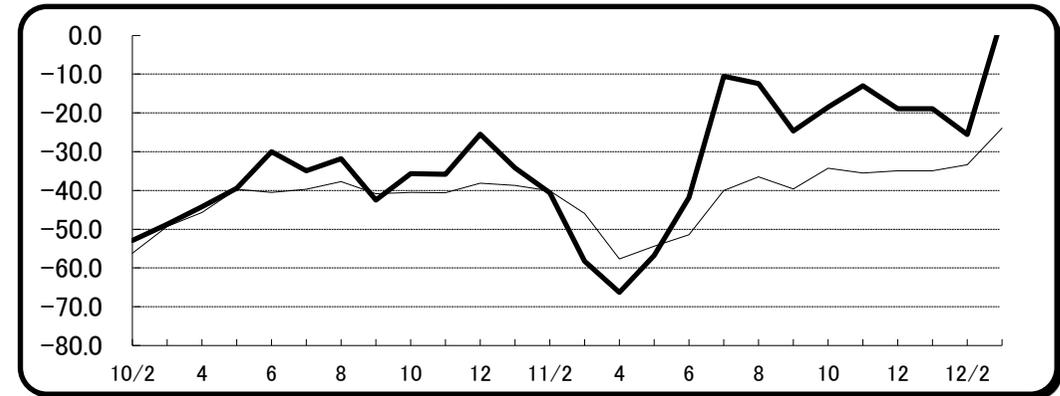
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	21.1	22.7	10.5	10.5	4.8	16.7	0.0
製造	▲ 25.9	▲ 23.3	▲ 35.7	▲ 8.3	▲ 26.7	▲ 3.6	▲ 7.1
卸売	▲ 30.0	10.0	▲ 22.2	▲ 14.3	▲ 37.5	▲ 44.4	0.0
小売	▲ 11.5	▲ 9.7	▲ 11.1	▲ 12.0	▲ 13.3	13.8	0.0
サービス	▲ 42.3	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 26.9	▲ 57.1	10.7	3.6

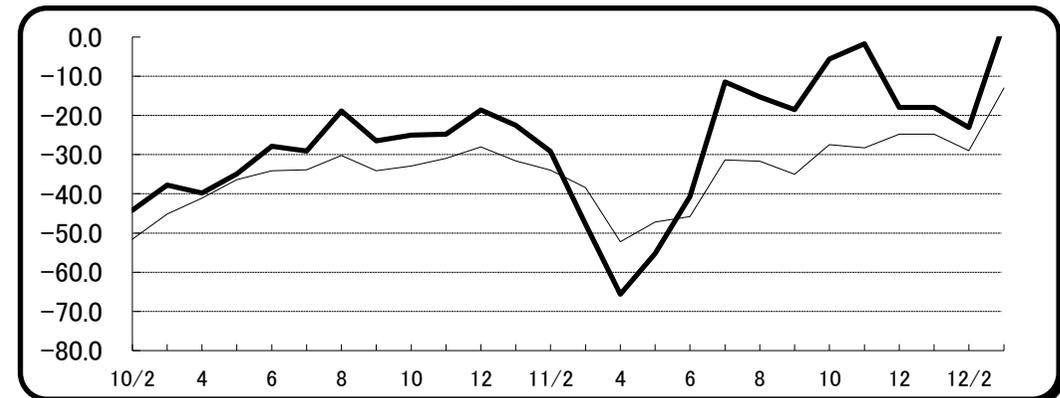
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）

—— 東北 —— 全国

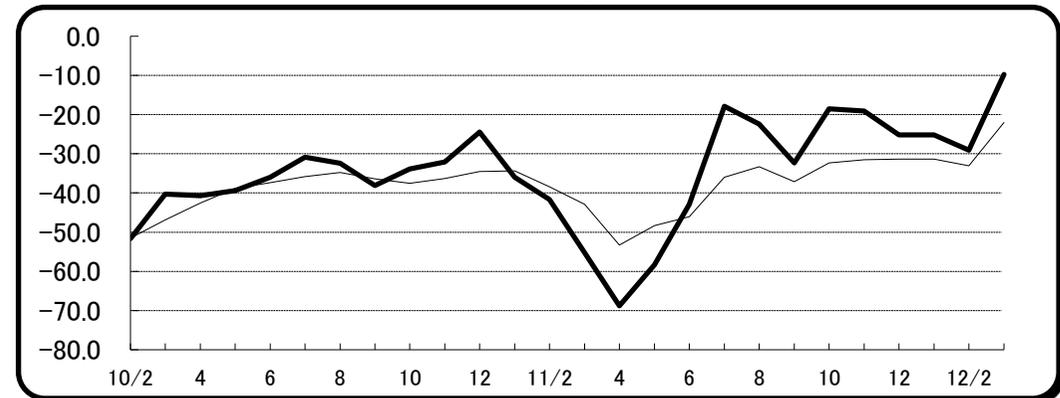
業況



売上



採算



【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業はマイナス幅が拡大、卸売業はほぼ横ばい、その他の3業種でマイナス幅が縮小した。
 ○一般工事業からは、「求人をしていないが応募が全くなく困っている。特に30代までの若者の求人は難しい」とのコメント。建築工事業からは、「公共工事の減少、低価格での入札などにより厳しい経営環境にある」とのコメント、建築資材卸売業からは、「昨年からの冷え込みが僅かではあるが緩和してきた」とのコメント。食品スーパーからは、「原油高騰によりプロパンガスが値上がり。光熱費の負担が増加している」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、建設業、卸売業はマイナス幅が縮小するものの、他の3業種は拡大する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 30.2	▲ 41.9	▲ 30.4	▲ 27.7	▲ 41.0	▲ 22.6	▲ 25.8
売上	▲ 22.4	▲ 36.9	▲ 23.0	▲ 20.0	▲ 38.3	▲ 10.1	▲ 17.1
採算	▲ 29.3	▲ 34.4	▲ 28.4	▲ 22.5	▲ 39.6	▲ 18.2	▲ 24.7
資金繰り	▲ 20.4	▲ 23.8	▲ 19.3	▲ 17.7	▲ 29.1	▲ 15.1	▲ 20.8
仕入単価	▲ 24.6	▲ 22.2	▲ 22.4	▲ 22.5	▲ 24.8	▲ 31.2	▲ 26.8
従業員	1.7	▲ 3.8	▲ 3.0	1.5	▲ 8.2	0.6	▲ 1.9

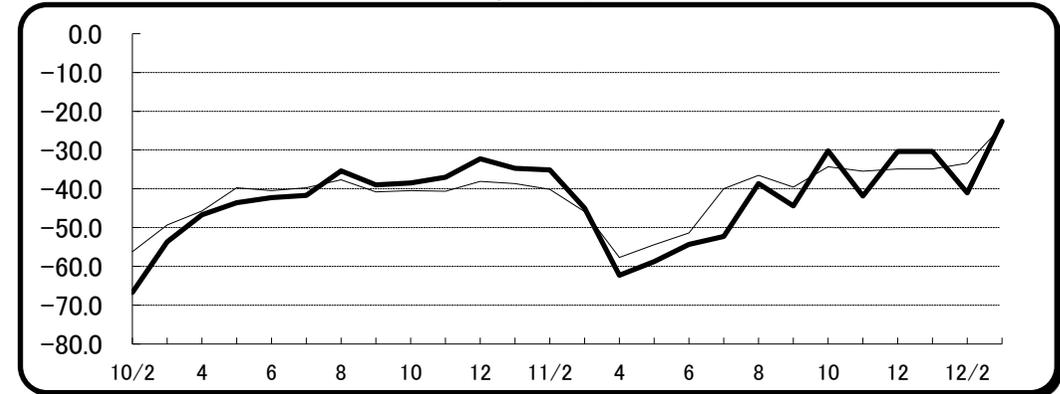
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 31.8	▲ 46.7	▲ 20.0	▲ 34.6	▲ 43.3	▲ 48.5	▲ 45.5
製造	▲ 3.6	▲ 24.3	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 22.2
卸売	▲ 80.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 21.4	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 5.9
小売	▲ 31.3	▲ 48.8	▲ 30.3	▲ 32.3	▲ 50.0	▲ 17.6	▲ 23.5
サービス	▲ 37.5	▲ 44.7	▲ 42.4	▲ 41.4	▲ 45.5	▲ 5.1	▲ 23.1

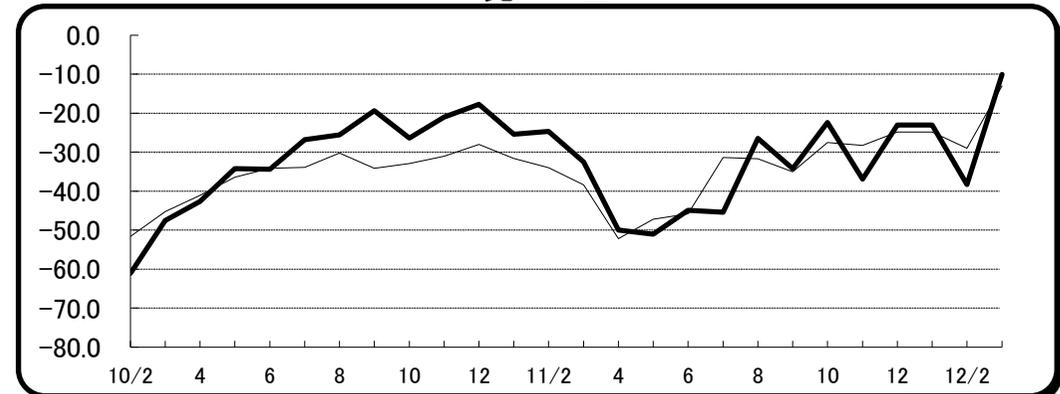
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越 —— 全国

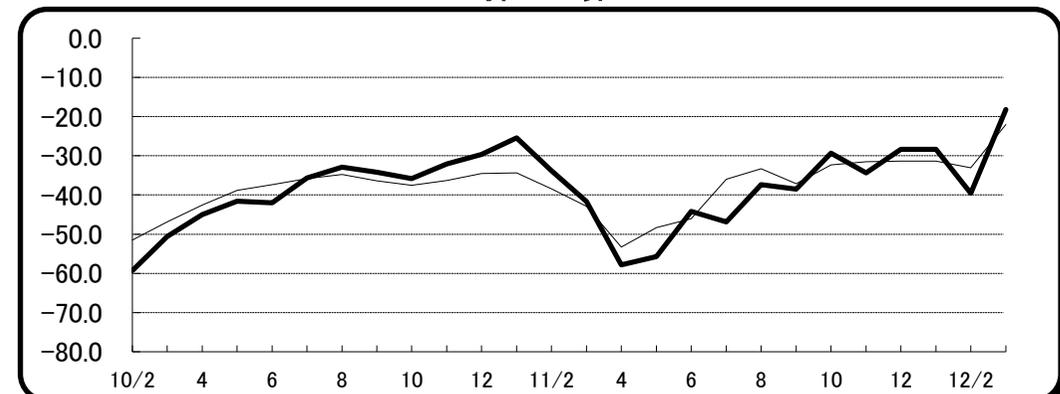
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業、卸売業はマイナス幅が拡大、その他の3業種はマイナス幅が縮小した。
 ○一般工事業からは、「鉄筋工・型枠工の不足が激しい」との声、自動車部品製造業からは、「燃料費の高騰に加え、電力料金等のエネルギーコストの増加が大きな問題」とのコメント。百貨店からは「スカイツリーのオープンによる沿線商業施設での消費を期待」とのコメント。ソフトウェア開発業からは、「システム開発案件は増加傾向であるが人手不足の状況であり、人件費が高騰している」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、卸売業はマイナス幅が縮小するものの、その他の4業種はマイナス幅が拡大する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 32.8	▲ 29.0	▲ 32.3	▲ 31.0	▲ 32.4	▲ 19.7	▲ 25.8
売上	▲ 25.3	▲ 21.3	▲ 16.7	▲ 23.1	▲ 25.4	▲ 5.4	▲ 13.3
採算	▲ 29.9	▲ 25.4	▲ 27.7	▲ 29.8	▲ 32.8	▲ 17.2	▲ 24.6
資金繰り	▲ 20.6	▲ 16.7	▲ 16.1	▲ 18.2	▲ 17.4	▲ 13.9	▲ 18.8
仕入単価	▲ 29.6	▲ 28.5	▲ 23.2	▲ 24.6	▲ 22.7	▲ 30.9	▲ 33.0
従業員	▲ 3.2	▲ 2.0	▲ 2.0	0.9	▲ 0.7	1.2	▲ 2.4

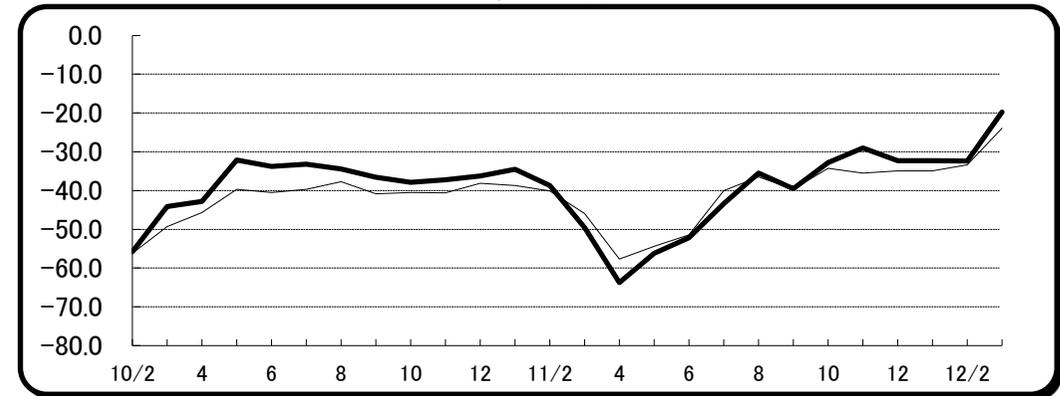
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 27.0	▲ 23.5	▲ 35.0	▲ 18.9	▲ 16.7	▲ 30.0	▲ 35.7
製造	▲ 23.2	▲ 19.3	▲ 12.2	▲ 27.2	▲ 26.6	▲ 7.9	▲ 21.8
卸売	▲ 21.4	▲ 28.6	▲ 32.1	▲ 18.8	▲ 21.6	▲ 25.9	▲ 24.1
小売	▲ 43.0	▲ 41.2	▲ 42.3	▲ 39.8	▲ 48.5	▲ 23.7	▲ 28.9
サービス	▲ 42.3	▲ 31.3	▲ 39.0	▲ 41.2	▲ 37.0	▲ 16.8	▲ 20.8

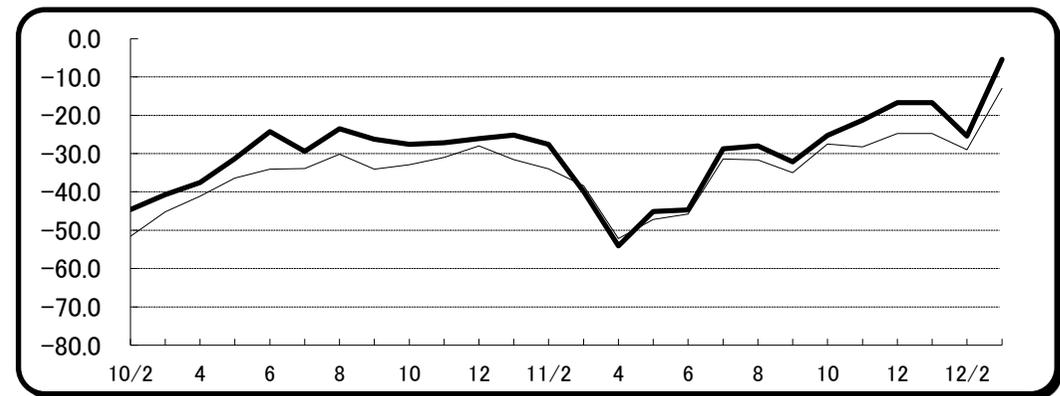
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）

—— 関東 —— 全国

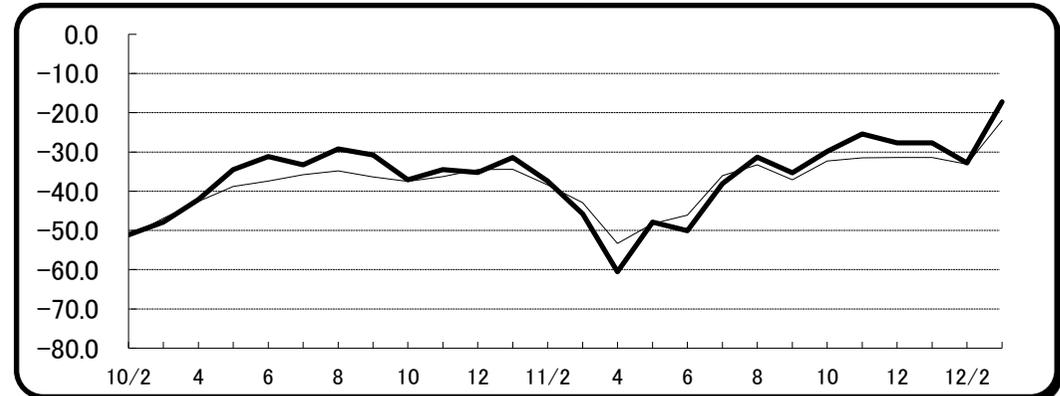
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東海】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、小売業はマイナス幅が拡大したものの、他の4業種は縮小した。
 ○鋳造業からは、「鋳物業界は在庫調整などの理由で生産が減少しているのに加え、親会社の輸出が落ち込んでいることに伴い自社の受注も減少」とのコメント。自動車部品製造業からは、「取引先企業の海外生産・現地調達化に伴い自社も海外移転を検討」との声、百貨店からは、「震災の影響で消費が落ち込んだ反動から、今年度上期は売上増を見込んでいるが、下期は先が見えない」とのコメント。自動車販売・整備業からは、「エコカー補助金・エコカー減税により現時点では自動車業界に効果が見られるが、一時的なものとならないような対策が必要」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、小売業はマイナス幅が縮小するものの、その他の4業種は拡大する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 28.3	▲ 34.1	▲ 26.9	▲ 25.3	▲ 27.1	▲ 18.7	▲ 31.3
売上	▲ 19.7	▲ 37.5	▲ 21.4	▲ 26.0	▲ 26.4	▲ 14.8	▲ 29.7
採算	▲ 27.6	▲ 35.3	▲ 30.3	▲ 29.9	▲ 33.6	▲ 22.1	▲ 30.0
資金繰り	▲ 16.8	▲ 18.2	▲ 17.9	▲ 16.1	▲ 12.5	▲ 11.9	▲ 17.5
仕入単価	▲ 19.2	▲ 17.9	▲ 18.9	▲ 17.8	▲ 13.8	▲ 26.3	▲ 21.8
従業員	1.6	0.0	▲ 2.8	▲ 3.2	0.7	▲ 5.0	▲ 7.7

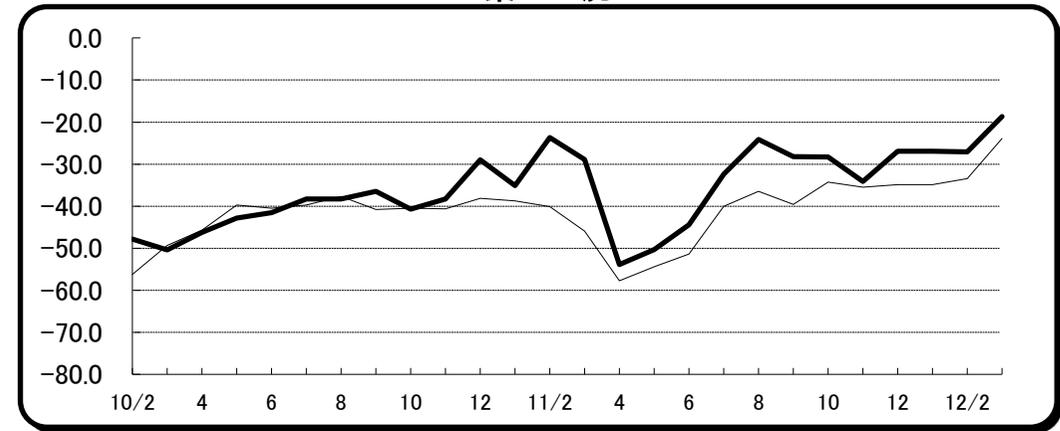
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 11.8	▲ 13.6	▲ 26.3	▲ 23.1	▲ 38.5
製造	▲ 21.9	▲ 24.4	▲ 21.4	▲ 15.9	▲ 19.0	0.0	▲ 29.4
卸売	▲ 60.0	▲ 64.3	▲ 47.4	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 5.3	▲ 10.5
小売	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 38.2	▲ 40.0	▲ 43.3	▲ 53.7	▲ 41.5
サービス	▲ 25.0	▲ 38.2	▲ 18.2	▲ 22.9	▲ 24.2	▲ 11.1	▲ 28.9

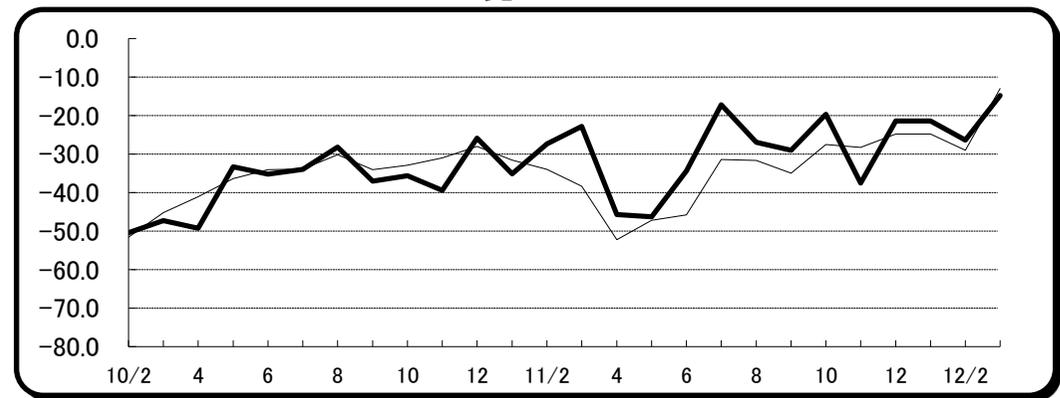
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）

——— 東海 —— 全国

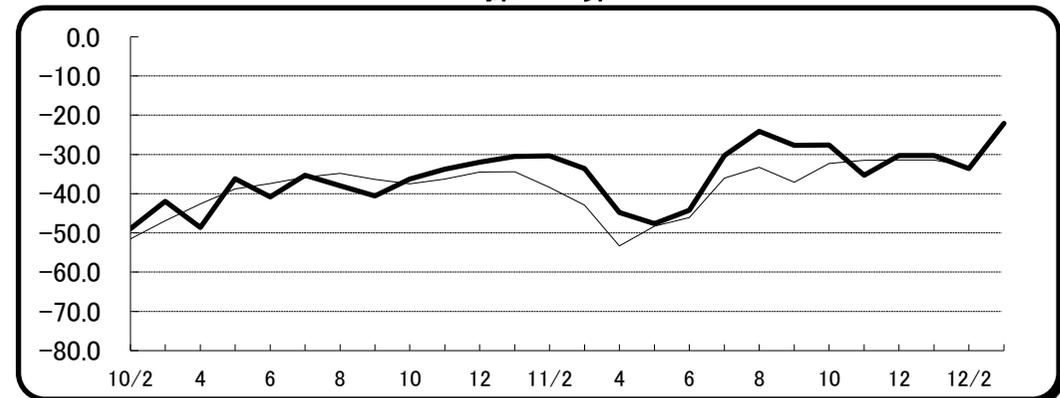
業況



売上



採算



【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、サービス業はマイナス幅が縮小したものの、その他の4業種は拡大した。
 ○瓦製造・販売業からは、「燃料費が3割以上増加。価格転嫁が今後の課題」との声、百貨店からは、「天候に左右され、婦人服・紳士服等の衣料品関連の動きが悪い」とのコメント。情報処理業からは、「IT関連機器の低価格化に伴い利益が減少。システム開発も低価格化が進んでおり採算が悪化」とのコメント。運送業からは、「燃料費の高騰により先行きは不安。既に運送業を撤退、廃業する者も出てきている」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、製造業はほぼ横ばい、卸売業はマイナス幅が拡大するものの、他の3業種は縮小する見込み。

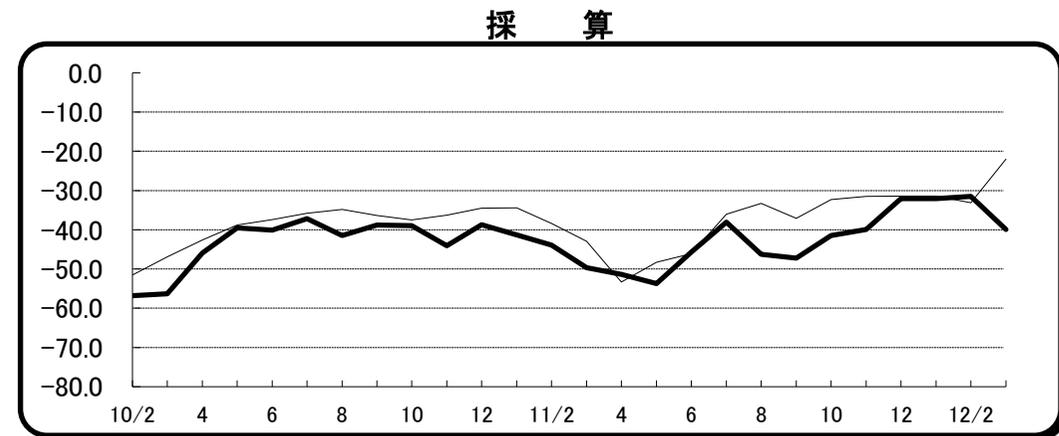
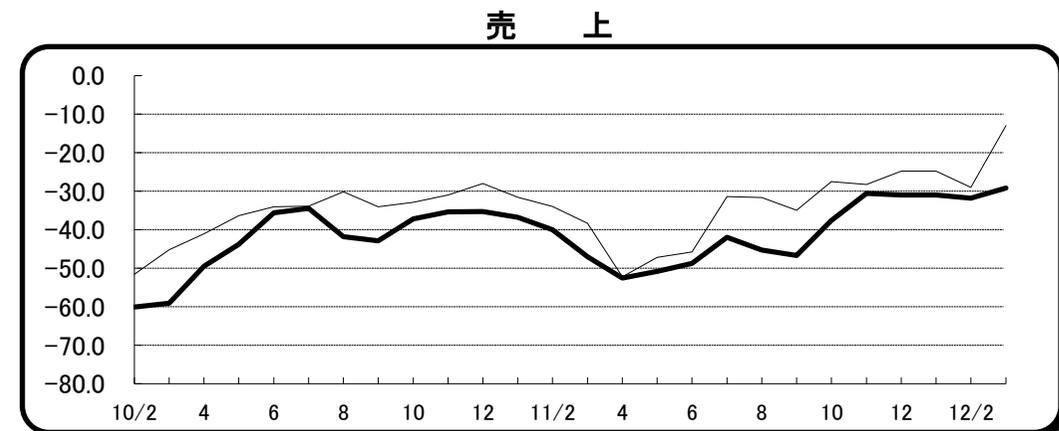
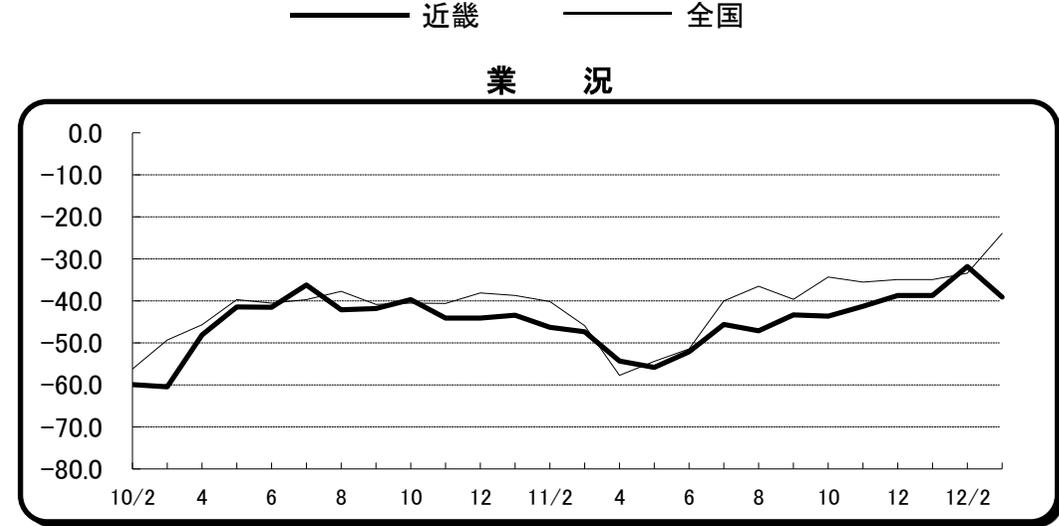
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲43.6	▲41.3	▲38.7	▲45.7	▲31.8	▲39.1	▲29.3
売上	▲37.6	▲30.6	▲31.0	▲37.4	▲31.8	▲29.2	▲23.4
採算	▲41.5	▲39.9	▲32.1	▲36.8	▲31.5	▲39.9	▲28.0
資金繰り	▲25.5	▲22.2	▲23.2	▲24.9	▲18.8	▲23.7	▲14.8
仕入単価	▲28.1	▲28.2	▲22.4	▲29.9	▲17.5	▲30.8	▲31.3
従業員	▲2.3	▲6.7	▲1.6	▲0.5	▲2.2	▲8.6	▲8.7

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲50.0	▲47.6	▲50.0	▲57.1	▲33.3	▲54.2	▲25.0
製造	▲39.1	▲34.7	▲18.2	▲30.4	▲17.0	▲31.9	▲31.9
卸売	▲35.3	▲17.6	▲18.8	▲21.4	▲6.3	▲22.2	▲27.8
小売	▲49.0	▲48.1	▲49.1	▲62.5	▲41.7	▲46.2	▲32.7
サービス	▲42.5	▲47.4	▲55.3	▲48.9	▲50.0	▲37.2	▲25.6

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）



【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみても、建設業、サービス業はマイナス幅が縮小したものの、その他の3業種で拡大した。
 ○金型製造業からは、「円高の影響で採算割れ受注が続いており財務を圧迫」とのコメント。百貨店からは、「食品スーパー、ドラッグストアの増加により競争が激化。また、大手半導体メーカーの破綻による地元経済への影響を懸念」との声、飲食店からは、「寒波等の異常気象の影響で生鮮品の価格が高騰している」とのコメント。旅館業からは、「大手飲食チェーンが増えているが、セントラルキッチンによる仕入れのため地元にお金が落ちない」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業はマイナス幅が拡大、卸売業はほぼ横ばい、その他の3業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 48.0	▲ 47.8	▲ 47.1	▲ 41.1	▲ 51.4	▲ 51.5	▲ 42.7
売上	▲ 48.5	▲ 34.4	▲ 38.6	▲ 43.9	▲ 48.6	▲ 39.8	▲ 31.1
採算	▲ 41.6	▲ 32.2	▲ 29.5	▲ 36.4	▲ 43.9	▲ 34.0	▲ 24.3
資金繰り	▲ 31.6	▲ 33.7	▲ 29.9	▲ 25.5	▲ 28.3	▲ 34.7	▲ 30.3
仕入単価	▲ 22.2	▲ 21.3	▲ 20.7	▲ 12.3	▲ 15.2	▲ 18.6	▲ 15.7
従業員	▲ 17.0	▲ 14.4	▲ 18.2	▲ 19.6	▲ 16.8	▲ 15.5	▲ 13.6

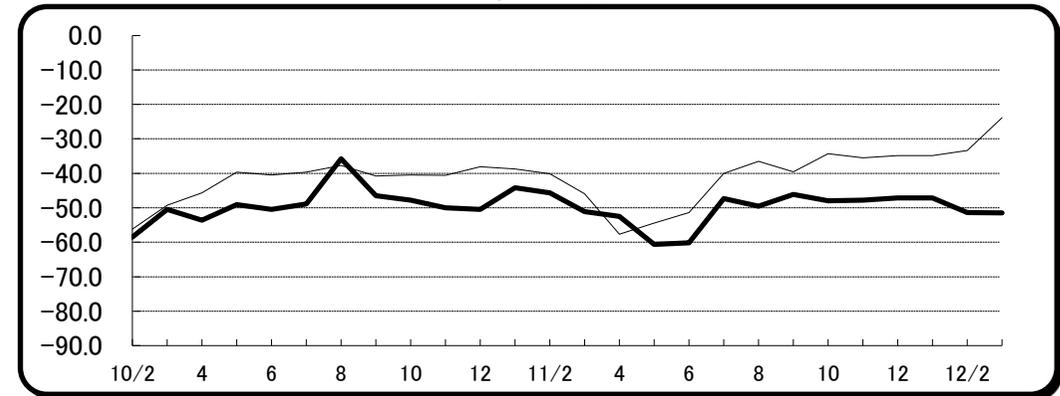
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 53.8	▲ 35.7	▲ 57.1
製造	▲ 26.7	▲ 40.0	▲ 35.5	▲ 32.3	▲ 34.3	▲ 39.3	▲ 32.1
卸売	▲ 58.3	▲ 36.4	▲ 33.3	▲ 35.7	▲ 46.7	▲ 53.8	▲ 53.8
小売	▲ 66.7	▲ 75.0	▲ 76.2	▲ 41.9	▲ 59.3	▲ 75.0	▲ 53.6
サービス	▲ 56.3	▲ 50.0	▲ 46.2	▲ 58.8	▲ 76.5	▲ 45.0	▲ 25.0

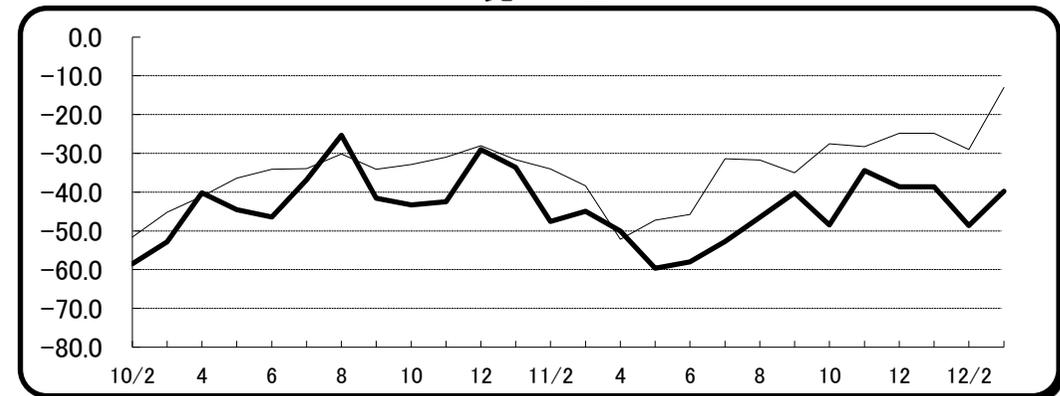
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国 —— 全国

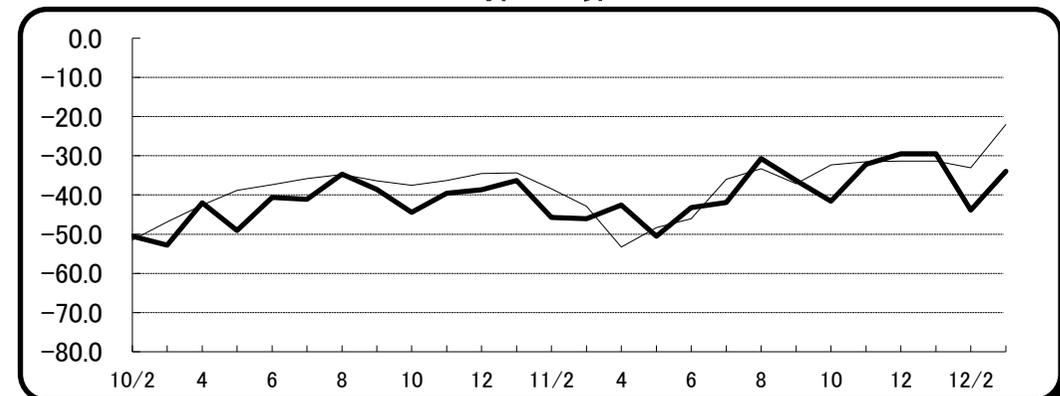
業況



売上



採算



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業はマイナス幅が拡大するものの、その他の4業種は縮小した。
 ○建築工事業からは、「公共工事の予算が減少傾向にあり、引き続き厳しい状況」とのコメント。織物製造業は、「寒さが長引き春物商品の売れ行きが悪く、生産に影響が出始めている」との声、家具製造業からは、「受注単価が上昇傾向にあるが、燃料費、原材料費が高騰しており収益は伸びない」とのコメント。旅館業からは、「円高の影響で海外からの観光客の減少が激しい」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、建設業、サービス業はほぼ横ばい、製造業、小売業はマイナス幅が悪化するものの、卸売業は改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 31.5	▲ 44.2	▲ 46.3	▲ 38.0	▲ 37.6	▲ 27.4	▲ 34.0
売上	▲ 28.8	▲ 37.2	▲ 36.1	▲ 32.4	▲ 26.5	▲ 10.4	▲ 29.2
採算	▲ 31.5	▲ 33.6	▲ 41.7	▲ 37.0	▲ 36.8	▲ 23.6	▲ 28.3
資金繰り	▲ 15.3	▲ 23.9	▲ 24.1	▲ 28.7	▲ 24.8	▲ 14.3	▲ 14.3
仕入単価	▲ 29.7	▲ 28.3	▲ 29.6	▲ 25.9	▲ 23.1	▲ 22.6	▲ 23.6
従業員	▲ 7.2	▲ 6.2	▲ 4.6	▲ 6.5	▲ 1.7	▲ 3.8	▲ 1.9

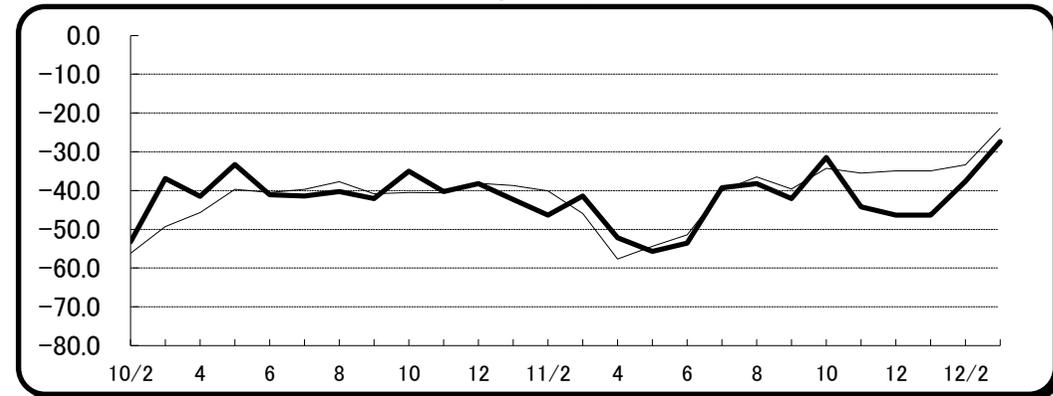
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 58.8	▲ 61.1	▲ 47.4	▲ 50.0	▲ 50.0
製造	▲ 17.2	▲ 39.3	▲ 37.9	▲ 30.8	▲ 32.3	▲ 16.0	▲ 32.0
卸売	▲ 50.0	▲ 12.5	▲ 60.0	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 30.0	▲ 20.0
小売	▲ 25.0	▲ 58.6	▲ 51.9	▲ 44.4	▲ 48.3	▲ 30.8	▲ 46.2
サービス	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 36.0	▲ 28.6	▲ 27.6	▲ 18.5	▲ 18.5

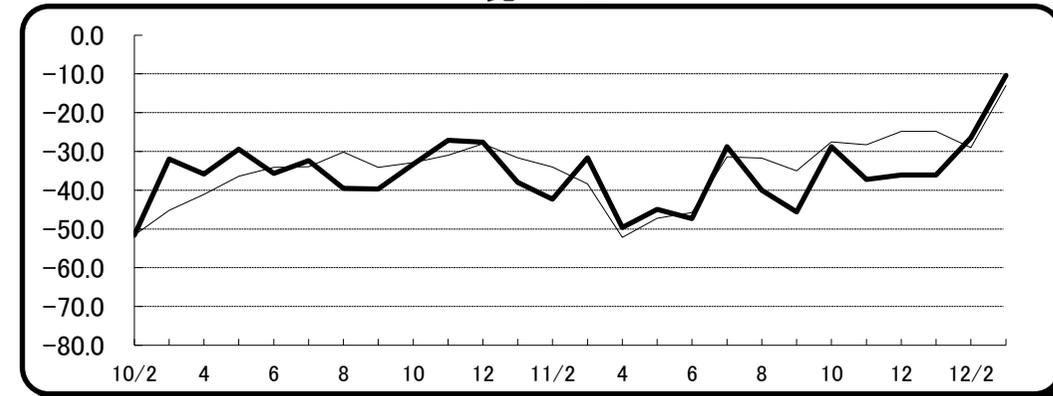
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）

——— 四国 —— 全国

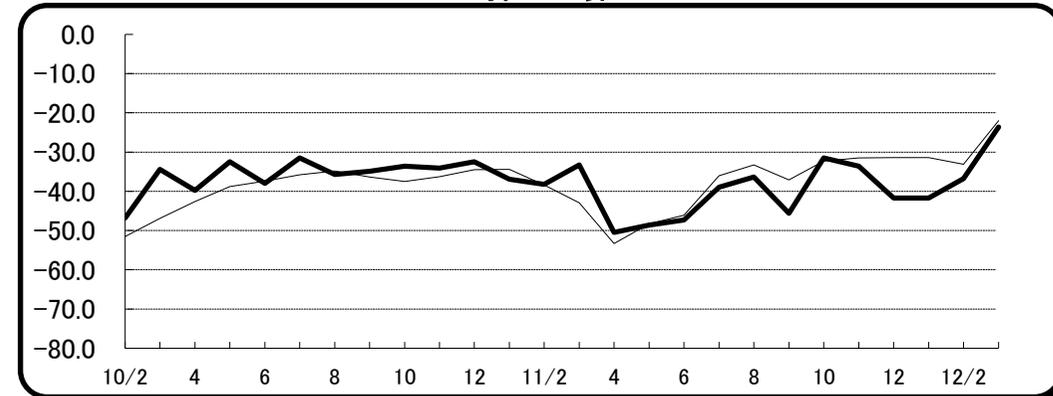
業況



売上



採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、卸売業、サービス業はマイナス幅が拡大したものの、他の3業種でマイナス幅が縮小した。
 ○建築工事業からは、「公共工事主体の当社においては官公庁の入札制度の最低制限価格が上がらないと利益が望めない」とのコメント。金属加工業からは、「取引先の手製造メーカーの海外移転、海外調達が急速に進んでおり、国内での受注が減少している」との声、百貨店からは、「寒さで冬物衣料の処分は順調であったが、春物衣料が不振で粗利は減少」とのコメント。燃料小売業からは、「原油価格の急激な上昇のため、燃料油、プロパンガスの仕入値が高騰。価格転嫁できず収益悪化」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、卸売業はほぼ横ばい、サービスは悪化するものの、他の3業種はマイナス幅が縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲42.5	▲45.1	▲44.4	▲33.1	▲29.5	▲31.3	▲27.7
売上	▲32.4	▲32.6	▲33.3	▲19.0	▲20.8	▲16.0	▲25.8
採算	▲41.9	▲43.0	▲43.7	▲27.7	▲25.4	▲20.8	▲25.6
資金繰り	▲28.9	▲28.9	▲29.6	▲28.4	▲15.5	▲26.0	▲17.7
仕入単価	▲37.3	▲26.2	▲25.4	▲34.8	▲24.8	▲34.6	▲30.2
従業員	▲11.0	▲5.6	▲7.4	▲2.8	1.6	▲5.4	▲10.8

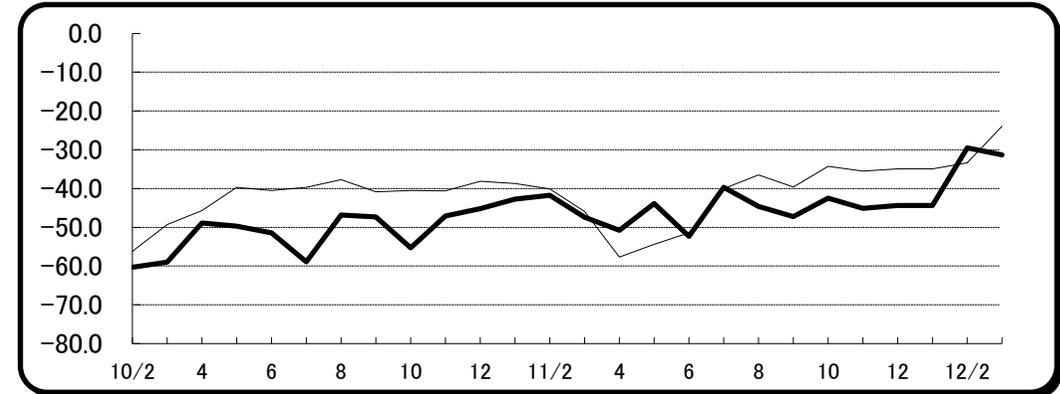
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲54.2	▲58.3	▲65.2	▲43.5	▲70.0	▲58.3	▲50.0
製造	▲39.3	▲41.9	▲46.4	▲43.3	▲46.4	▲25.8	▲19.4
卸売	▲38.5	▲69.2	▲35.3	▲11.8	▲31.3	▲33.3	▲33.3
小売	▲32.4	▲41.0	▲52.8	▲40.0	▲26.5	▲22.9	▲14.3
サービス	▲50.0	▲34.3	▲22.6	▲21.6	9.7	▲24.1	▲32.1

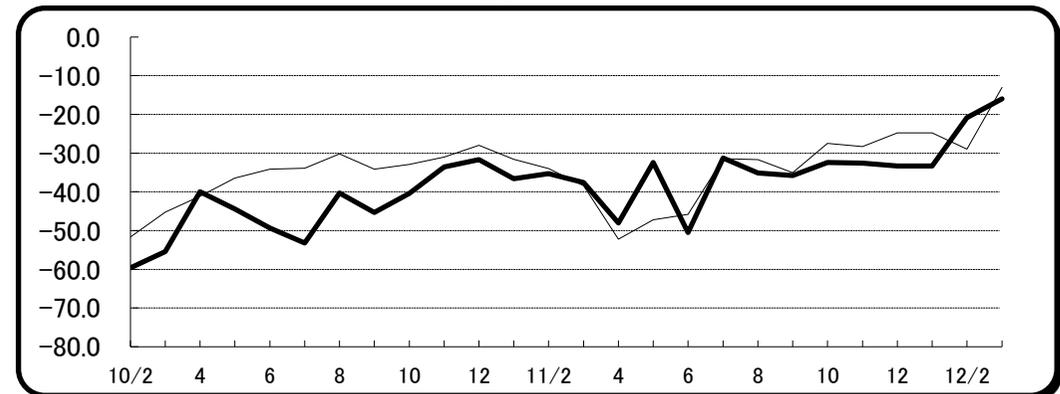
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

